

### 山原代議士の国会30年 祝う集いに二〇〇人

こんななまで大衆に愛された代議士があつただろうか。こんななまで私心なく奉仕しつづけた政治家がいただろうか。

二月六日、三翠園で催された祝いの会は、文字通り立錫の余地なく、わきかえった。

30年と簡単にいうが、歩んできた道は、まさしくイバラ道であり、「けもの道」の連続だった。長い長い険しい道を切り拓いてきたその前人未踏の偉業に心から敬意と謝意を捧げたい。

そして私たちもまた、終始彼を支えつづけ、一翼を担って共に歩み、たまたかってきたことを誇りに思う。

今期限りで引退されるが、まだまだ初志は貫徹されていかない。「学校は劇場のようによろしい所」どころか、「学校崩壊」が叫ばれている。

今後、ますます健康に留意されて、大衆のために奮闘されるよう祈つてやまな。

(浜田)

### 旅 江南の旅



格安のツアーがあつて中国に行つた。江南とはいえない。年末は寒い。

上海に着いたのが土曜日だったせいとか、バンドにきた花嫁さんの車は花で飾られてカンをひっぱり、夕食をとつたホテルでは、大勢がやつてくると突然、結婚式と披露宴が始まつたのは驚いた。雑然とした下町に、高層ビルが次つぎにたつ国際都市の活力を、庶民の生活にもみる思いがした。

翌日は、水路が縦横に走り交う穀倉地帯を走つて蘇州、無錫に向う。この生活は開放経済のもと、都市をしのぐといわれ、山肌にはばりつくように暮らす長江上流の貧しさとは余りに

### お願い 会費未納の方へ

会費の納入がいろいろの事情で遅れている会員の皆さん、年度末がきました。恐縮ですが、すぐご送金ください。

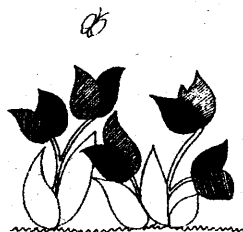
### 母親運動実行委員会に 参加して

昨年より母親運動実行団体として参加しています。2月28日(日)の実行委員会に参加しましたので報告します。

今年、第45回日本母親大会が愛媛で開催されます。参加目標を一日千名、二日間延べ二千名として取り組んでいきます。

各市町村の母親運動連絡会に積極的にご参加ください。先立つものをつくるために記念物品を販売してあります。直接参加できない方はメッセージカード(一枚五百円・可愛いクジラ)に要求を書き日本大会に参加しましょう。

男性の参加をとくに呼び掛けています。(はやし)



も落差が大きい。

運河沿いには各園が多い。「楓橋夜泊」で名高い寒山寺は塔を背にした鐘樓が美しく、拙政園や虎丘、錫恵公園はぜひを尽くして、そのスケールに驚く。

しかし南京のそれはさらに大きい。中華門は巨大な城壁を想起させ、三九二の広大な石段を上つてようやく孫文の座像と靈室にたどり着く中山陵は、皇帝の陵墓かとみまがう。

「こんな墓は三民主義に反するじゃあないか」というと中国の若い添乗員はちよつと困つた顔をして「国民党がつくつたからでしょ」という。彼は画家で、添乗員はアルバイトだといふ。「大唐殺記念館をみたかった」というとこの劉青年は声をつまらせ、「同じ姓の劉少奇の本には啓発された」というと我がことのように喜んで。

格安だとはいへ、ただシヨッピングに時を費やすツアに気が重くなつていたが、上海にもどつて雑技団の子どもたちの演技をみた、さわやかな想いをおみやげに、中国を離れた。

(南 千加良)

### わたしの健康法

森岡恭子

退職した当時の二、三年の間は、孫の守を頼まれて孫育てに忙しい日々。明け暮れだつた様に思う。今はもうその孫達も、三人までは小学生となり、友達の方がよくなくて、私達から離れていくようだ。

私には「健康法」と云う程のものはないが、あえて言えば、第一には年齢にも似合わず、「山の会」の山行や、カトマンズクラブと名付けた夫婦三組(六名)のグループなどの実施するトレッキングによく参加したりしていることである。

第二には、少しばかりの島で、除草作業をしていると、近所の方から「退屈で仕方がないでしょう」と、まるで私が遊んででもいるかの様な口調で挨拶される時があるので、いそいで否定、「家の中でだけは走らんようにして欲しい」と、よく主人から注意されるほど動き廻つていられるよと言つて笑つたほど、何時も小走りに動いていることである。そんな私だが、現在のは地区の健康推進委員の

### 清流の拠点 四万十楽舎がオープン



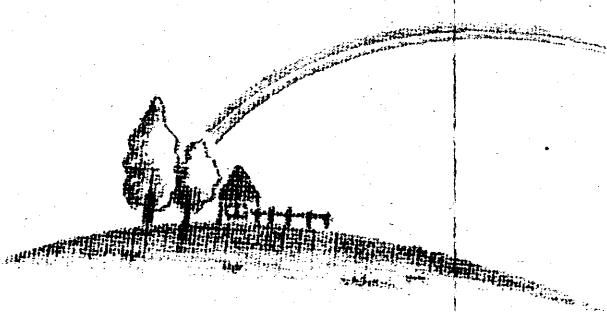
高退協の三石寿弘さんや山下正寿さんたちが設立に努めていた四万十楽舎が、この四月いよいよオープンします。

楽舎は旧校舎を環境・文化センターにかえたもので、自然豊かな四万十川を存分に楽しんでもらえるよう、スタッフと地元の名人が自然体験をガイドします。

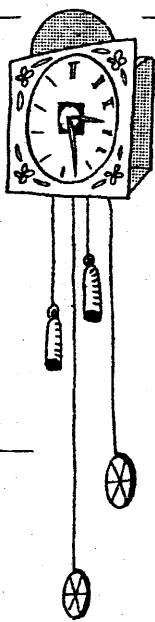
また自然体験学習や文化創造活動の拠点としての役割を果たしながら地域の活性化につなげようとするもので、みなさんの積極的な協力と活用がのぞまれています。現在募集中の個人会員制度は次の通りです。

一人として援助活動にも加わつており、毎月、一回の健康相談日には、保健婦さんによる血圧測定がある外、健康に関するお話があつたり、個人的に健康について相談することが出来るシステムになつていゝ。血圧測定等が終わつた後では折紙や、小物作りをすることもあり、私も参加しているうちに、結構楽しいものになつてきている。その催しが近付くと、実施日時、場所内容等を伝えるチラシを担当地区の該当者に配布したりのお手伝いもしていることなどであらうか。

相談日に訪れる人も、現在ではだんだん高齢になつて、参加者の数も少なくなつてきているが、何となく私も私は、まだ動けるので、そんな方々のボランティア的なお手伝いをするのもある。私にとつては、こころ配る習慣も少しは身につけてきているようです。



- 正会員 一口、五千元
  - 総会の決議権、通信、情報誌の送付、施設・備品使用、宿泊の割引
  - 準会員 一口、三千元
  - 通信の送付、施設・備品使用の割引
  - 賛助会員 一口、一万円
  - 通信・情報誌の送付、施設・備品使用、宿泊の割引
- 問い合わせ、申し込みは  
〒787-1132  
西土佐村中半四〇八一  
四万十楽舎  
TEL 0880-154-11230



### 高教組だより

#### 「成績率」の賛否を問う 全教職員投票の結果

高教組書記長  
野村 幸司

県教組・高教組が呼びかけた「『成績率』導入の賛否を問う全教職員投票」は、高校・障害児学校で八一%、小中学校もあわせて七五%の投票率を得て、教職員の総意を県民に明らかにするものとなりました。投票の取り組みには、組合の枠を越えた協力が寄せられました。高教組・独教・未組織の代表からなる管理委員会による投票が実現した学校が複数ありましたが、未組織の方と協力しながら取り組んだ職場も多数ありました。

県議会でのこの投票に関する見解を求められた教育長は、あくまで六月強行に固執しながらも「趣旨が十分伝わっていない面があるのではないか」と答えました。「趣旨」が伝わっていないとすれば、それは教職員の疑問や意見に、正面から答えようとする県教委の責任です。六月からの実施を見合わせ、論議を尽くすのが筋でしょう。

投票用紙には、率直な疑問や意見も多数記載されています。多くは、制度自体への疑問や問題点の指摘で

す。指摘をまとめると、主に次の三点に集約できます。  
①成果の定量化(数値化された評価)が困難  
②集団的活動としての教育に不可欠な共同を、競争的評価が破壊する  
③評価が教職員の意欲・力量向上に役立たない

実は、こうした指摘は私たちだけのものではありません。成績主義に基づく賃金制度が導入されたアメリカ・イギリス・オーストラリア・ニュージーランドの四カ国においても、教職員組合や教育関係者が同様の指摘をしています。四カ国の評価制度は、「管理者個人が一方的に評価し、結果は開示しない」という日本固有の評価制度とは根本的に異なります。しかし、そうした中でも同様の指摘があることは、それが教育の本質に根ざす問題だからです。

四カ国の中には、問題点が事実として確認され、すでに制度自体を見直した国もありました。こうした点を見るならば、六月強行を凶る県教委の姿勢がいかに乱暴なものかは明らかです。

私たちは、教職員投票の結果や、寄せられた意見を基に、一層幅広い県民に問題を訴えていくつもりです。また、国際基準からみて極めて異常な今回の事態を、国際舞台で訴えるための検討も進めています。

引き続きみなさんのご支援をよろしく願います。

### 相撲三知識三十一

林 勤

#### 大相撲を支える人々(5)

親方(5)

○弟子の光は七光(2)

本県出身32代横綱玉錦は、小部屋の悲哀をいやという程味わったので「ゆくゆく

左四つ



#### 高退協もピラ配布 勤評闘争の想いこめ

昨年末、高教組が第二の勤評闘争と呼んでいる勤勉手当への格差導入に反対して、現職と一緒に県庁前で早朝のピラ配布を行ないました。

そしてこの2月、組織をこえた多くの教職員の投票で、圧倒的多数が査定導入に反対した結果をふまえ、再度ピラを配布しました。

その日は県職も早朝職場集会を開いており、県教委のいる西庁舎前でも激励を受けてのピラ配りでした。

#### 99年度の高教組 執行委員決まる

今年行われた役員選挙で来年度の執行委員が次のように決まりました。

- |       |      |
|-------|------|
| 執行委員長 | 井垣政利 |
| 書記長   | 野村幸司 |
| 教文担当  | 熊沢美郎 |
| 情宣    | 安芸暢英 |
| 青年    | 片岡昌宏 |
| 女性    | 林 博子 |
| 貸対    | 原 仁  |
| 事務職員  | 山下健一 |
| 障害児学校 | 八川善康 |
| 共闘    | 井上圭介 |
| 安芸支部  | 笠原静香 |
| 香長支部  | 小松茂弘 |
| 高知市支部 | 渡辺忠直 |
| 高吾支部  | 坂下伸文 |
| 高岡支部  | 西内裕詞 |
| 幡多支部  | 坂本公男 |

### 土佐山田三史蹟、吟行

1月31日  
日曜

兼山終焉地  
お 婉 堂  
谷 秦 山 墓 地

合田青幹

大小の歌碑の影おく寒日和  
南学の興りし里や春近し

中内みち代

参道の冬萌盛んお婉堂  
受験子の神とし崇む墓小さし

小笠原さちを

執政の末路悲しや芝枯るる  
梅の香や土佐南学の故地はこい

### 割腹切除

近森病院にて  
門田 豊

唐突に割腹切除「胃かいよう」  
姐に乗る鯉の如くに  
(一月十二日)

喜寿迎え割腹手術受けし身は  
最晩年の人生思う

退院の兆しようやく見えし日に  
一足早き黄砂のペール

退院の朝の光のまぶしくて  
生命燦々深呼吸する  
(二月一日)

は弟子を集めて大部屋にしたい」という意気込みは並々ならぬものがあった。玉錦は大関時代の昭和六年六月に師匠が亡くなってから、昭和十年に二枚鑑札が認められた。二枚鑑札とは、特別な場合に理事会の承認を得て、現役力士のまま年寄として番付に載る制度であるが、昭和三十三年からは認められなくなっている。

二枚鑑札となった玉錦は、精力的に弟子を集め、十名余りの小部屋を僅か三、四年の間に百人を超える大部屋にした。が、その弟子をこれから仕上げようという矢先の昭和十三年十二月四日、現役横綱のまま急逝した。

その時の一番弟子玉ノ海も二枚鑑札が認められ、師匠が残した佐賀ノ花、神風、琴錦、大ノ海、また自分自身、弟子力道山、二代目玉ノ海、十勝岩らを、佐賀ノ花の大関を筆頭にして三役前頭に育てた。

玉ノ海は、終戦直後にこの関取衆を集めて「年寄は全員に弟子養成の権利がある。独立を許さない出羽海部の部屋では、幕内以上がたたら自由に、むしろ積極的に弟子を集め、引退と同時に独立してよい。これは二所ノ関一門の繁栄だけでなく、相撲界全体の隆盛につながるものだ」と言った。

この方針によつて各力士は独立し、競い合つて弟子を養成した結果、佐賀ノ花↓大鵬、大麒麟、琴錦↓琴ヶ浜、琴桜、琴風。大ノ海↓初代若乃花、輪島、魁傑、更に若乃花が二子山となり、貴ノ花、二代目若乃花、隆の里、若島津、現在の貴乃花、若乃花、貴ノ浪。二代目玉ノ海↓玉の海。等々の横綱、大関をはじめ、掲げきれない程の三役、前頭を輩出し、二所ノ関一門なくしては大相撲は成り立たない程の隆盛を極めた。因みに、伊野町出身の元関脇荒勢(高知高一日大)も大ノ海の弟子であった。

これらの人気力士を育てた各親方は、ご本人の器量と弟子の光とが相俟つて、それぞれ要職について活躍している。

次回は「弟子の光は七光」の筆頭格、力士養成の名伯楽と言われた大ノ海の花籠親方について述べる。